



嚴島神社

国宝・世界文化遺産

奉納

龍画家 塩谷榮一



いつくしま

厳島神社

広島県廿日市市宮島町1-1

ご祭神

市杵島姫命（いちきしまひめのみこと）

田心姫命（たごりひめのみこと）

湍津姫命（たぎつひめのみこと）



空から見た厳島神社

ご利益

交通安全、金運、開運必勝、心願成就、学業成就などです。また、祀られている宗像三女神が海の神、交通運輸の神、財福の神、技芸の神であるため、これらのご利益があるとされています。

歴史

推古天皇元年（593）、佐伯鞍職〔さえきくらもと〕によりご創建と伝えられています。

説は、色々ありますが、「いつくしまにまつれる神」という意味から、「伊都伎島〔いつくしま〕神」、「厳嶋神社」等呼称され、現在は、「厳島神社」となっています。

原始宗教のなごりで、島全体が神の島として崇められていましたので、陸地では畏れ多いと潮の満ち引きするところに社が建てられました。平清盛が久安2年（1146）安芸守に任官され、平家の守護神として尊崇し、平家一門の権力が増大するにつれてこの社を尊崇する度合いも増し、社殿を現在の姿に造営しました。都から後白河上皇、建春門院、中宮徳子、高倉上皇を始めとする皇族や貴族が訪れたので、都の文化や建築が宮島に入ってきました。現在も厳島神社に伝承されている舞楽は、清盛公によって大阪四天王寺から移されたものです。社殿は、災害により何度か立て替えられていますが、清盛公が造営した当時の姿を伝えられているといわれています。

松島・天橋立と並び日本三景「安芸の宮島」として知られ、平成8年（1996年）にはユネスコの世界文化遺産に登録され現在にいたる。

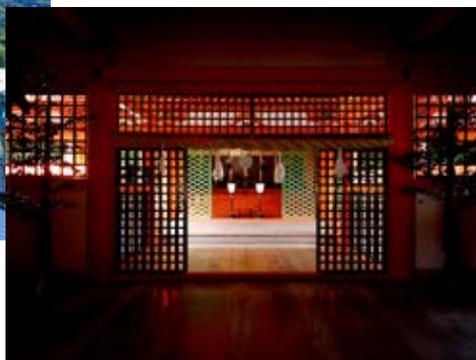


本社本殿

本殿、幣殿、拝殿、祓殿、高舞台、平舞台で構成され、これらは本殿から海上の大鳥居まで一直線の軸上に並ぶように置かれています。奥の本殿と手前の拝殿の間を幣殿でつないで全体を1棟とする形式であり、拝殿の手前には祓殿（はらいでん）が建つ。祓殿のさらに手前（海側）には「高舞台」と呼ばれる高欄付の舞台があり、舞楽の奉納などに使用されています。



本殿 正面



拝殿

寝殿造桧皮葺 しんでんづくりひわだぶき

国宝・重要文化財の建造物は17棟3基・美術工芸55点など約260点。

東廻廊45間、西廻廊62間。

本社の他に客神社・朝座屋・祓殿・高舞台・平舞台・左右門客神社・火焼前・大国神社・天神社・能舞台・反橋・長橋・揚水橋・内侍橋の建物構造群からなっています。

東廻廊入口は切り妻造り、西廻廊入口は唐破風〔からはふ〕造りで、廻廊幅は約4m・長さ約260m・柱間約2.4m（8尺）・一間に8枚の床板が敷かれています。床板の隙間は、高潮時に床下から押し上げてくる海水の圧力を弱め、また廻廊に上がった海水を流す役目をします。



回廊

神の島 宮島

宮島は島全体が信仰の対象で、古代から弥山とその周辺の山容に靈気が感じられるとされ、地元の人々が自然崇拝していたことにはじまります。厳島神社は、593年に創建されました。806年に、弘法大師空海が、島からの靈気を感じたことから弥山に御堂を建て、真言密教の修験道場となりました。山岳信仰も相まって平安時代から江戸時代にかけて多くの方が訪れていました。初代内閣総理大臣の伊藤博文公も信仰厚く、弥山に何度も訪れています。



観音様が横たわっているような姿の山並み

龍神信仰

厳島龍神は、厳島神社では無くお隣の大願寺に祀られていますが、厳島神社に祀られている海の神様である宗像三女神が水の神であることから龍神と深く結びついているという信仰を指しています。

そして厳島神社は平清盛がこの世に再現した竜宮殿とも言われています。

(竜宮殿りゅうぐうでんは、主に伝説や神話に登場する竜王や竜神が住む海底の豪華な宮殿を指します。)

2023 G7 広島サミット



宮島 厳島神社で記念撮影



各国の首脳が厳島神社の舞台で雅楽鑑賞

奉納作品



作品名

いちぞくはさんかん いっしんいちず
荒波と龍 一鏃破三関 一心一途

136 X 270 cm

和紙布 墨、金箔、銀箔
額縁 檜 木曾宮大工製作



背面イメージ

前面、背面に奉納者のお名前が入ります。

奉納奉告祭

ご祈祷

祝詞を読み上げたのち、玉串をお供えして拝礼を行う



イメージ 貴船神社奉納報告祭



イメージ 貴船神社奉納報告祭

奉納記念品



イメージ 奉納記念色紙

龍の画家 塩谷 榮一

滋賀県 社家に生まれる 京都在住

- 日本画家(日展)大野 藤三郎先生に師事
- 図案家 亀田 悦次先生に師事
- アトリエ亀田(株)常務取締役役に就任
- 1976年 テキスタイル塩谷 設立
- 宝ヶ池21世紀展 出展(プロデュース) 京都:国立京都国際会館
- 九重部屋(千代の富士)ゆかた、グッズ制作
- 横綱 貴乃花関 化粧直しデザイン

- 神戸松蔭女子学院短期大学非常勤講師(20年)

- YUMI KATSURA.PARIS 2015コレクション GLORIOUSRIMPA
(きらめく琳派) COLLECTION DISPLAY 協力参加

- 滋賀県安土町 新宮大社「龍の絵馬」奉納
- 京都 臨濟宗単立広徳山薄雲御所慈受院門跡「平成の雲龍」奉納
- 松井誠(時代劇)伊勢神宮奉納舞「八岐大蛇」の舞台衣装制作
- 滋賀県安土町第32番札所 観音正寺「平成の雲龍」奉納
- 世界遺産 出雲大社(島根) 奉納 制作
- 世界遺産 厳島神社(広島) 奉納 制作
- 奈良県天理市 大和神社「波濤に向かう龍」大絵馬奉納 /祖霊社に几帳「戦艦大和」奉納
- 京都大原 清香山玉泉寺寂光院に「雲龍図」奉納

- ブータン国王陛下・王妃に謁見 几帳「雲龍図・揮毫」献上

- 福島県桜丘小学校 ブータン国王に献上した同じ龍の几帳を寄贈
- 京都市に龍「活龍不滞水」2013.3.11寄贈
- 世界遺産 南朝皇居 奈良 吉水神社「活龍不滞水」奉納
- 滋賀 都久夫須麻神社(竹生島神社)「白龍」奉納
- 滋賀 加茂神社「白馬入蘆花」奉納
- 在ブラジル連邦日本大使館「活龍不滞水」寄贈
- 在東京ブータン王国名誉総領事館「活龍不滞水」寄贈
- 真宗大谷派 東本願寺「夏雲多奇峰」奉納
- 滋賀県安土 新宮大社 信長公上覧「竹相撲」絵馬制作
- 京都大原三千院門跡 宝物殿「京量に昇降龍」記念展
- 熊本県南阿蘇中学校 熊本地震支援寄贈 復興支援
- 熊本県南阿蘇村 真宗大谷派 玉龍山 江善寺 奉納
- 京都 北野天満宮「平成の雲龍」桂木末太郎氏(奉納)大絵馬制作 2017年8月
- 京都貴船神社 平成の雲龍「活龍不滞水」奉納
- 世界遺産 賀茂御祖神社(天皇陛下即位) 葵祭り記念奉納 藍染雅織工房 几帳協力 2019年
- 長崎県壱岐市 聖母宮「活龍不滞水」奉納
- 2010年～2025年 世界遺産 賀茂御祖神社(下鴨神社)へ毎年大絵馬奉納
- 2010年～2025年 奈良大和神社へ毎年大絵馬奉納
- 比叡山延暦寺 国宝殿「比叡山に龍が舞う」奉納記念展覧会 2023年4月
- 京都 堀川御池ギャラリー「京に舞う龍」～比叡山から続く龍の世界～ 個展開催 2023年6月
- 台北駐日経済文化代表処 謝長廷駐日代表「活龍不滞水」寄贈 2023年6月
- 岐阜県下呂市 玉龍寺「玉龍寺に龍が舞う」特別展開催 2023年11月
- 京都 香老舗 松栄堂「お香と龍」個展 2024年1月
- 大阪 住吉大社 吉祥殿 奉納記念個展 2024年5月
- 大阪 住吉大社「活龍不滞水」三井慶昭氏(奉納)大絵馬制作 2024年5月
- 京都 貴布禰総本宮 貴船神社「活龍不滞水」龍鳳会80名(奉納)大絵馬制作 2024年5月
- 長崎 壱岐島 聖母宮「登龍門 活龍不滞水」大絵馬奉納 2024年12月

- 琵琶湖竹生島 都久夫須麻神社(竹生島神社)「活龍不滞水」四方啓二氏(奉納)
大絵馬制作 2025年1月
- 京都 香老舗 松栄堂「大絵馬とカレンダー原画展」個展 2025年2月

- 愛知 熱田神宮「大道透長安」三井慶昭氏(奉納)大絵馬制作 2025年5月

- 大阪 大鳥大社「好事不如無」米澤住男氏(奉納)大絵馬制作 2025年7月

- 北海道 立正山 本光寺「活龍不滞水」下地美鈴氏(奉納)大絵馬制作 2025年11月